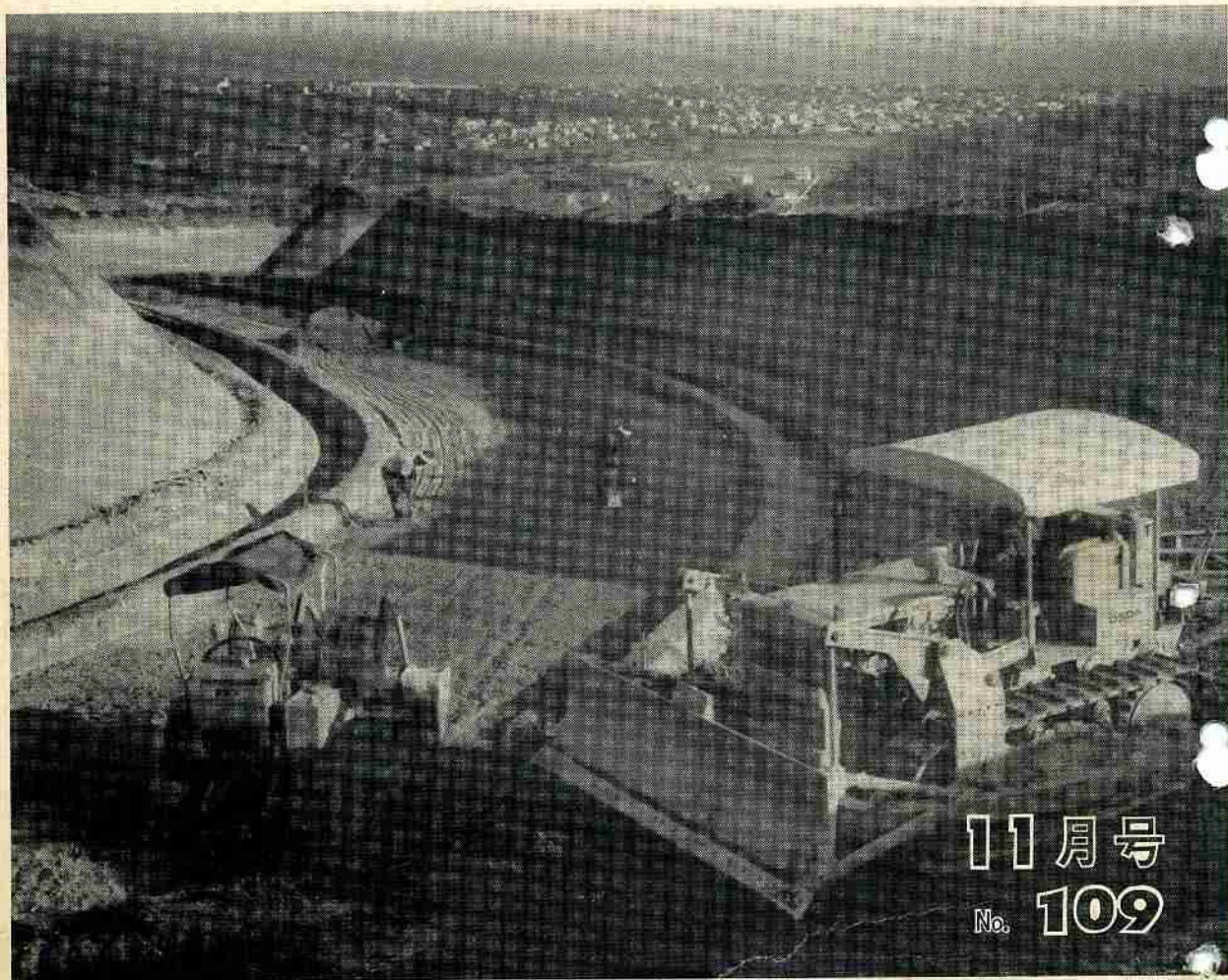


① 広報のほりべつ



11月号
No. 109

農免道路の造成

急ピッチ

農業生産基盤の中核をなす農免道路の建設工事が、ただいま急ピッチでおこなわれております。

この農免農道は、幌別ダムの手前から札内を横断し、登別に至る総延長一万五千メートルの道路で、ことしから第一期計画にはいりました。第一期計画は、七千五百四十メートルで、ことしは千三百四十メートル（幅員六・五メートル）を造成され、事業費は二千六百万円。

四十四年度は六千二百メートル（事業費六千八百三十四万円）で第一期計画を仕上げるが、引き続き第二期計画も予定されています。

この道路が完成すると来馬、札内を横断する国道の役割を果し、今後物資の運搬や車輛など交通の効率を高めるとともに、未利用地の開発により経営の拡大と近代化が図られ、農道としての果す役割は大きく、農村地帯は増々発展するものと考えられます。

このほか一般農道として、上鷲別を起点に川上路線を終点とする総延長六千九百五十四メートル（事業費七千九十四万円）が計画され、ことしは高岸までの二千五百三メートル（事業費千八十万円）が造成されることになり、農道の整備が大幅に進められています。

登別町財政事情説明書

登別町昭和43年度各会計の予算執行状況および昭和42年度各会計決算見込み状況について公表いたします。

昭和43年度における国内経済は過熱状態となり、国は公共投資の繰延べおよび民間金融の窓口規制等、財政金融両面に亘る抑制政策をとっている状態にあります。

このような中で開基100年を記した登別町は、急伸する町勢に対処する公共施設を早急に整備する必要にせまら

れており、文教施設の整備、消防施設の充実、青少年会館新築、公営住宅建築、町道舗装、防災排水路整備、農業基盤施設整備等の諸事業を施行中であります。

今後も明るく住みよい町づくりのため努力する所存でございますので、みなさんのより一層のご協力をお願いいたします。

昭和43年11月

登別町長 高田 忠雄

昭和42年度各会計決算状況見込

43.9.30現在 (単位 千円)

一般会計

(1) 歳 入

科 目	予 算 額	収入済額	率(%)
町 税	289,385	316,176	109.5
国有施設等所在市町村助成金	66	66	100.0
農業施設利用規交付金	200	364	182.0
臨時地方財政交付金	670	670	100.0
地方交付税	171,816	171,816	100.0
分担金及負担金	2,847	2,754	96.7
使用料及手数料	15,384	16,443	122.9
国庫支出金	112,757	113,090	100.3
道 支 出 金	23,558	23,958	101.7
河 産 収 入 金	8,822	10,323	105.1
寄 附 金	4,177	4,169	99.8
繰 入 金	5,000	5,000	100.0
繰 越 金	43,058	43,058	100.0
諸 収 入 金	83,971	85,650	102.0
町 債	178,500	178,500	100.0
合 計	939,171	972,019	103.5

(2) 歳 出

科 目	予 算 額	支出済額	率(%)
議 会 費	15,133	15,096	99.8
総 務 費	165,902	140,447	84.7
民 生 費	50,499	47,417	93.9
衛 生 費	50,066	29,887	59.7
労 働 費	58,869	58,375	99.2
農 林 水 産 業 費	29,858	29,542	98.9
商 工 費	51,037	50,849	99.6
土 木 費	276,478	275,676	99.7
消 防 費	49,055	48,467	98.8
教 育 費	157,628	157,190	99.7
災 害 復 旧 費	21,207	21,182	99.9
公 債 費	53,159	53,109	99.9
予 備 費	500	0	—
合 計	939,171	907,235	96.6

特別会計

会計別	区 分	予 算 額	歳 入		歳 出	
			収入済額	率(%)	支出済額	率(%)
国民健康保険特別会計		67,296	66,758	99.2	64,327	98.6
観光事業特別会計		104,564	102,880	98.6	102,806	98.5
清掃事業特別会計		51,821	51,924	100.3	51,709	99.6
学校給食事業特別会計		51,312	51,306	99.9	51,076	99.5
合 計		254,793	252,868	99.2	251,918	98.9

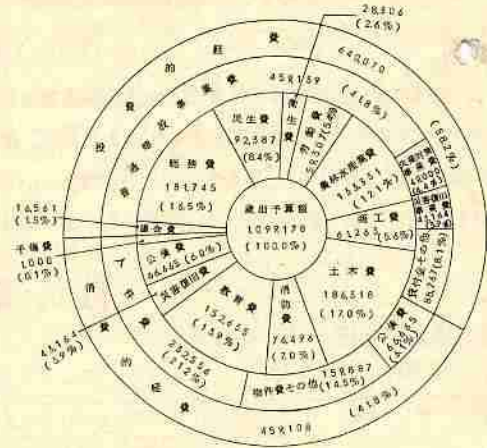
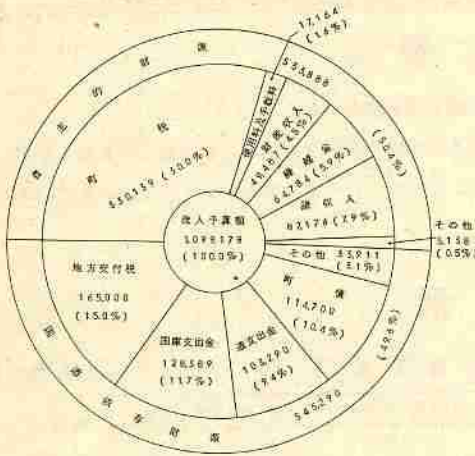
昭和42年度町税負担の状況

43.3.31現在

現年度分調定額	302,247千円
町民1人当り	7,092円
1世帯当り	27,066円

昭和43年度一般会計予算

(単位 千円)



昭和43年度各会計予算執行状況

43.9.30現在 (単位 千円)

一 般 会 計

(1) 歳 入

科 目	予 算 額	収入済額	率(%)
町 税	530,139	151,934	4.0
国 有 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 金	66	0	—
遊 楽 施 設 利 用 税 交 付 金	350	116	33.7
自 動 車 取 得 税 交 付 金	5,996	0	—
地 方 交 付 税	1,650,000	1,655,19	100.2
分 担 金 及 負 担 金 料	31,137	1,579	5.1
使 用 料 及 手 数 料	12,164	8,193	42.7
国 庫 支 出 金	1,082,909	2,5605	18.4
国 庫 支 出 金	108,290	2,226	2.2
財 産 収 入	40,487	2,222	4.5
寄 附 金	1500	1,450	96.7
繰 越 金 入	64,784	44,784	100.0
繰 入	87,176	2,756	1.12
町 債	114,700	0	—
合 計	1,099,178	4,51,186	39.2

(2) 歳 出

科 目	予 算 額	支出済額	率(%)
議 会 費	16,561	8,668	52.5
郷 土 振 興 費	184,164	9,982	5.06
民 生 費	92,387	3,715.3	4.02
新 生 費	28,306	6,015	21.2
勞 働 期 間 費	59,307	3,415.5	57.6
農 林 水 産 業 費	155,551	2,734	2.5
商 工 業 費	61,265	5,150.5	84.1
土 木 費	184,164	58,639	31.5
消 防 費	74,496	18,857	25.7
教 育 費	184,164	7,116.1	72.6
災 害 復 旧 費	54,403	1,522	2.67
公 債 償 還 費	66,665	3,231.8	48.5
予 備 費	1,000	0	—
合 計	1,099,178	4,51,685	39.2

特 別 会 計

会 計 別	区 分	予 算 額	歳 入		歳 出	
			収入済額	率(%)	支出済額	率(%)
国民健康保険特別会計		82,937	25,967	31.3	27,151	32.7
観光事業特別会計		139,652	3,422.9	2.45	8,151.8	5.82
清掃事業特別会計		30,557	7,199	23.6	13,264	43.4
学校給食事業特別会計		55,991	14,495	26.8	17,910	32.2
合 計		302,137	61,688	20.4	139,643	46.2

町 債 の 状 況

43.9.30現在

土木債	247,293 (36.7%)
教育債	184,164 (27.3%)
災害復旧債	54,403 (8.1%)
消防債	14,254 (2.1%)

その他債	37,750 (5.6%)
観光事業債	86,042 (12.8%)
清掃事業債	39,228 (5.8%)
給食事業債	10,934 (1.6%)

総 額
674,068千円
町民1人当り
15,515円
1世帯当り
58,305円

登別町水道事業業務状況説明書

一 般 概 要

当町の水道事業は、昭和42年度より地方公営企業法が適用となり、企業会計方式により事業を進めてきましたが、配水量は前年度より9.1%増加し、給水人口においては1,300人の増加をみ、それに伴う財政面では、営業収支において605

千円の剰余金を生じました。

昭和43年度も前年度以上に企業の独立採算制を維持し、住民のサービス向上に一層の努力をいたしてまいりたいと存じます。

営 業 状 況

水道工事施行状況 (4月～9月) 新設, 改良工事

工 事 名	口径 (mm)	延長 (M)	管 種	着工月日	竣工月日
合 別 地 区 各 別 業 務 所 前 配 水 管 布 設 工 事	100	100	石綿管	4.3.6.20	4.3.7.8
合 別 地 区 各 別 業 務 所 前 配 水 管 布 設 工 事	100	150	〃	4.3.6.25	4.3.7.11
上 懸 別 業 務 所 前 配 水 管 布 設 工 事	150	352	〃	4.3.7.22	4.3.8.9

給 水 普 及 状 況

	42年度9月末実績	43年度9月末実績	普及率
総人口	41,986	43,446	75.5%
給水人口	31,434	32,705	
総世帯	10,973	11,561	70.2%
給水世帯	7,544	8,117	

各種栓数

専用栓 2,564栓
共用栓 58栓
消火栓 129栓

給水工事施行状況

(単位 千円)

種別及び件数	施行 件数	42年度	43年度	43年度
		9月末実績	9月末実績	9月末実績
給水工事	件数	454	950	538
	調定額	11,971	44,789	18,576
修繕工事	件数	511		273
	調定額	248	650	254

企業債の状況

昭和43年9月末現在
(単位 千円)

企業債の種類	発行総額	当年度償還額	償還高累計	未償還残高	償還率(%)
政 府 債	149,700	1,574	14,474	135,226	9.7
公 庫 債	61,000	536	4,895	56,107	8.0
簡 保 債	3,000	36	395	2,605	13.2
計	213,700	2,146	19,762	193,938	9.2

経 理 状 況

4月～9月 (単位 千円)

種別	科 目	予算額	調定額	執行率
収 入	給 水 収 益	48,600	24,588	50.6%
	受 託 工 事 収 益	45,809	18,914	41.3%
	量水器取替工事収益	157	26	19.0%
	その他営業収益	575	401	69.7%
	受 取 利 息	120	113	94.2%
	雑 収 益	1,065	48	4.5%
	(雑用水)給水収益	1,340	608	45.4%
	(雑用水)受託工事収益	350	1	0.3%
	(雑用水)その他営業収益	4	1	25.0%
	計	98,000	44,700	45.6%
基本的収入		0	0	0%
合 計		98,000	44,700	45.6%

種別	科 目	予算額	執行額	執行率
支 出	原水及び浄水費	11,544	3,507	30.9%
	配水及び給水費	7,651	2,774	36.3%
	受託工事費	42,252	19,874	47.0%
	膨 脹 係 数 費	10,868	4,497	41.4%
	減価償却費	7,691	3,846	50.0%
	資産減耗費	120	0	0%
	その他営業費用	80	19	23.8%
	支 払 利 息	15,279	6,565	49.6%
	雑 支 出	4	0	0%
	子 備 費	50	0	0%
	(雑用水)配水及び給水費	3,458	1,758	50.8%
	(雑用水)受託工事費	525	59	12.0%
	(雑用水)膨脹係数費	55	3	0.5%
	(雑用水)減価償却費	753	377	50.1%
	(雑用水)資産減耗費	20	0	0%
(雑用水)支払利息	40	0	0%	
(雑用水)予備費	10	0	0%	
計	98,000	43,279	44.2%	
資本的支出	建設改良費	3,300	1,596	48.4%
	修繕改良費	75	0	0%
	固定資産購入費	686	633	92.3%
	企業債償還金	4,345	2,146	49.4%
計	8,406	4,375	52.0%	
合 計		106,406	47,654	44.8%

昭和42年度 損益計算書

(単位 千円)

水道事業の部

営業収益	7,598.0	
給水収益	4,454.5	
受託工事収益	5,073.4	
その他営業収益	7.1	
営業費用	5,952.0	
原水及び浄水費	8,64.5	
配水及び給水費	7,05.8	
受託工事費	2,375.4	
修繕費	8,82.0	
減価償却費	7,75.1	
倉庫費	2.2	
その他営業費用	2.5	
営業利益	1,646.0	
営業外収益	4.5	
受取利息	2.2	
雑収益	2.3	
当年度純利益	1,691.8	
営業外費用	1,538.0	
支払利息及び論議債返済費	1,538.0	
水道事業当年度純利益	3,53.8	

雑用水事業の部

営業収益	8.8	
給水収益	7.5	
受託工事収益	7.5	
その他営業収益	(420円) 0	
営業費用	5,76.9	
配水及び給水費	2,95.1	
受託工事費	6.5	
修繕費	1	
減価償却費	7.8	
倉庫費	5.4	
営業損失	2,96.1	
営業外収益	7.8	
雑収益	7.8	
当年度純損失	2,88.3	
営業外費用	5.0	
雑支出	5.0	
雑用水事業当年度純損失		
当年度純利益	6.0	

昭和42年度 貸借対照表

(単位 千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(負 産 の 部)		(負 債 の 部)	
固 定 資 産	2,244.07	流 動 負 債	2,01.6
水道事業有形固定資産	2,177.27	未 払 金	1,21.7
雑用水事業有形固定資産	4,63.0	前 受 金	41.0
投 資	5.0	その他流動負債	38.9
流 動 資 産	830.6	(資 本 の 部)	
現 金 預 金	3,18.7	資 本 金	2,257.75
未 収 金	5,44.2	自 己 費 本 金	2,768.9
貯 蔵 品	2,67.7	借 入 費 本 金	1,940.84
		剰 余 金	79.24
		費 本 剰 余 金	7.51
		利 益 剰 余 金	6.05
		資 本 合 計	2,516.97
資 産 合 計	2,357.13	負 債 ・ 資 本 合 計	2,557.13

昭和42年度水道事業会計利益剰余金処分内訳

利益剰余金605千円については、減債積立金に10万円、建設改良積立金に20万円、利益積立金に10万円、翌年度繰越利益剰余金に205千円をそれぞれ処分しました。

中牧保氏藍綬褒章

道路づくりを促進し、地方産業の振興と地域社会の公益に貢献した功績で、中牧保さん(登別温泉)が、去る十月二十日東京・狸穴、中央官庁で藍綬褒章を受賞しました。

統計功労者

統計調査員として多年にわたりあらゆる困難を克服し、統計調査に貢献された小野寺進さん(中登別)に知事表彰がされました。

富浦の戸部・和田両氏が 知事表彰

富浦にお住まいの戸部徳行さんは、漁労中右手指を切断されたがその後いくたの困難を克服し、生活を立て直し、自立更正したことから、去る十一月一日札幌グラントホテルで知事表彰を受けました。また民生委員である和田弥平治さん(富浦)は、戸部さんを励まし、今日の戸部さんに自立更正させたよき相談役として、同日知事表彰を受賞しました。

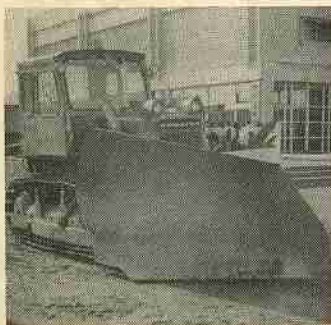
交通安全で登別町が受賞

四十三年七月よりおこなった衆別事故防止月間において、登別町が積極的に交通安全の事故防止にあたることも、交通安全のよい優秀な成績を収めたことにより道警本部、道交通安全協会、道自家用自動車協会より表彰されました。

道路の除雪に新威力

道路の補修および除雪用として十月二十三日ブルトーザーが購入されました。

このブルトーザーは、小松製D五十一A一五形七千二百四十ccで購入価格は、四百六十七万円。今後はグレーダと併用しておいに活やくするものと期待されています。



生活館条例を改正

第五回 臨時議会

第五回臨時議会は、十月二十一日午前十時より開かれました。この議会では、水害対策特別委員会の中間報告と新市制についての中間報告など報告五件、生活館条例の一部改正など議案二件、地方交付税の税率引下げに関する意見案一件が審議されました。審議された主なものは次のとおりです。

水害対策特別委員会の中間報告
九月の議会で附託を受けた鷺別地区の水害対策については、九月十日第一回の委員会を開き、水害の状況について慎重に検討するとともに現地を調査し、また室蘭市に交渉した結果、室蘭市とともにまず、技術面でどうするかを検討し、早急にこの水害を解消するようこの対策を講ずることになりました。

新市制について

新市制の実現問題については、去る六月の定例議会で決議されて以来、全国の関係町とともに中央へ強力に運動を続けており、中広の国會議員各位の協力により、その見通しはかなり明るい方向に進展をみております。

生活館 条例

十月三十一日に竣工した宇富浦九

十番地の十六にある富浦生活館の使用料が、次のとおりとなりました。

9時～22時		18時～22時		13時～17時		9時～12時		面積 (㎡)	室名
暖房料	使用料	暖房料	使用料	暖房料	使用料	暖房料	使用料		
600	1,600	300	700	300	500	200	350	66.88	1号
300	900	150	400	150	300	100	200	32.26	2号

今月の納税

- ◎町道民税(第三期)
- ◎国民健康保険税(第三期)
- ◎個人事業税(第二期)

十一月二十日までです。忘れず納期限内におましよう。

町民の生命・財産を守ろうと 秋期消防演習

町消防秋期の演習は、十月十五日日町宮野球場を会場におこなわれました。

午前八時四十分、各地区から集った約百五十名の消防マンが、観



別西口駅前より市巾着をおこなひ、九時より会場では、分列行進人員報告等をしたあと、功績者表彰、永年勤続者表彰、感謝状の贈呈をおこないました。

引き続き訓練にはいり、小隊訓練消防ポンプ操法、放水訓練がおこなわれました。この訓練では、各分団ともきびきびとした動作で、日ごろの訓練ぶりを発揮し、町民の生命や財産を火災から守る気はくがあふれていました。

表彰されたかたがたはつぎのとおりです。
功績者 井上正光(幌別) 土橋賢(登別) 小林富男、浜田昭三、日野昇二(以上登別温泉) 中村正信(鷺別) 長尾六郎、若松良信(以上来馬)
十年勤続 八重樫昭二(幌別) 泉一夫(登別温泉) 木村幸一 敦賀喜代勝(以上来馬)

簡易保険で豊かな町づくり

郵政省では、豊かな暮らしづくりの簡易保険新加入運動を実施しております。

郵政局の簡易保険は、みなさんの経済生活の安定と福祉の増進に貢献しているほか、地方公共団体の公益事業に融資されています。とくに、みなさんの生活に直接関係の深い学校、公営住宅、道路水道など公共施設の建設整備に大きな役割を果たしており、当町でも

現在、一億二千五百九十六万円の融資額があり、住みよい町づくりに役立っています。

このように、みなさんが払い込まれた保険料は、町民の生活向上に欠くことのできない公共施設に使われています。あなたの生活設計に郵便局の簡易保険をおすすめしておりますので、近くの郵便局におきください。

二十年勤続 野呂恭次郎 村松政一(以上来馬) 中村正信 伊藤福次郎 鹿野 明(以上鷺別) 感謝状の贈呈 ・火災早期発見者 武沢寿範(富浦) ・婦人消防クラブ 富浦婦人消防クラブ ・自衛消防隊 北海道曹達幌別工場 第一滝本館 ・町内会 来馬第三町内会、登喜和町内会、温泉第七町内会第三班、温泉第八町内会

・消防後援会 幌別、登別、登別温泉、鷺別、来馬、富浦の各後援会 ・消防後援会役員 菅原達雄 浜 富造(以上幌別)

美 挙

愛情銀行へ

宮武忠史(幌別) 五〇,〇〇〇円
コーヒーパールイ 八八六円
橋本 茂(富浦) 五,〇〇〇円
村上忠蔵(来馬) ミシン一台
上田商事(来馬)
古切手二、五〇〇枚
観音寺ユースホステル

常松ミワ(登別) 衣類四八点
匿名 米 三〇キログラム
育英会へ
宮武忠史(幌別) 一〇〇,〇〇〇円

町の人口

男 二二、二六八(二六一増)
女 二二、五三三(二四二増)
計 四四、七九九(三〇三増)
世帯数
一一、六四五世帯(八四増)